学校番号	109

令和２年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅢ	3	第３学年	Revised POLESTAR English Communication III

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

多岐にわたる題材の英文に触れ、自分が持つその分野の背景知識を手掛かりに正しく内容を読み取り、理解したことについて自分の意見をまとめ、英語で伝えられるようになることを目標とします。さらに、授業で他者との意見交換を行う中で、学習した内容についてさまざまな観点から深く考えられるようになりましょう。これらの学習を通して、みなさんが多様な知識と教養を身につけ、主体的に社会の形成に参画し、世界各国の伝統・文化を尊重しつつグローバル社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるようになってほしいと思います。

予習では初見で本文を読み通して概要をつかみ、意味のわからない単語は確認しておきましょう。授業でより理解を深め、積極的に英語で自分の意見を発信してみましょう。復習では、自分の言葉でその内容をまとめてみるリテリングを、さらに何度もしっかりと音読をすることによって、学習した語句や表現を自分のものにしていきましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「英語コミュニケーションⅢ」（３単位）及び「英語表現演習」（３単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・身近なトピックに関して、具体的な理由を添えて自分の意見を述べることができる。 ・スピーチやディベート、プレゼンテーションを英語で行うことができる。	ECⅢ 授業中の活動 （ペアワーク・グループワーク等） 英表演習 授業中の活動	・自分の意見を具体的な事例や理由を添えて論理の明確な複数の段落からなる英文で、時間をかけた修正を経て、読み手に分かりやすく書くことができる。	ECⅢ レポート 定期考査 英表演習 定期考査	・自分の得意とする分野に関する自然な速さで話されるスピーチや会話（3～5分）を聞いて、ポイントをつかみながら内容を理解することができる。	ECⅢ 定期考査 授業中の活動 英表演習 定期考査 授業中の活動	・まとまりのある英文を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを押さえながら、全体の要旨を理解することができる。	ECⅢ 定期考査 授業中の活動 英表演習 定期考査 授業中の活動

３ 学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	a. 授業に対する意欲 b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査	a. 授業に対する意欲 b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査	a. 授業に対する意欲 b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査	a. 授業に対する意欲 b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 The Future of Nursing Care Robots （5 時間）	高齢者や体が不自由な人の手伝いをする介護ロボットに関する文章。ロボット技術や介護ロボットの機能について書かれており、高齢化社会における介護ロボットの重要性やその問題点などについて考えられる構成となっている。 （科学技術）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ロボットや科学技術について、知っていることや思っていることを発言できる。 介護ロボットや高齢化社会について自分なりに考えた意見を発言できる。	Warm-up の写真について英語で説明したり、語句の確認を行ったりするなどして学習内容への関心を高める。教師によるオーラル・イントロダクションを聞いて本文の内容を予測し、ペアで共有する。	情報や考えなどについて英語で話し合ったり意見の交換をしようとしたりする。ペアワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。	a. 授業に対する意欲 b. 発表
		「外国語表現の能力」			
		教科書の Writing パートで内容の要約を書き、ほかの生徒と相互評価する。また、ペアやグループでの言語活動を通して、自分の考えを発表する。	「介護ロボットは人間の介護者よりも優れているか」賛成・反対に分かれてミニ・ディベートを行ったり、ディスカッションを行ったりする。	本文の内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることができる。ペアやグループで対話や議論などを行い、自分の考えを自分の言葉で話すことができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		介護ロボットの開発に関わる科学技術について理解できる。 介護ロボットの種類やその役割が理解できる。	本文の概要を問う問題、詳細を問う問題に取り組み、内容理解を深める。さらにペアで英語による Q&A を行い、本文の内容理解を確認する。	リーディングの問いに対し、本文の流れを的確に把握して答えることができる。リスニングの音声を聞き取り、問題に答えることができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		新出の語や表現の意味・用法を理解する。 介護ロボットに対する日本人とドイツ人の意見の違いを理解する。	介護ロボットの重要性やその問題点などについて考える。 本文中に用いられている表現などから、英語特有の言い回しやその意味を考える。	新出の語や表現の意味・用法を理解し、必要に応じて適切に使用できる。本文から読み取れる、題材とその分野に関連する知識を理解している。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
Lesson 2 Making English the Official Language in the Office （5 時間）	英語を社内公用語にした日本の企業に関する文章。その利点・問題点について書かれている。自分自身の英語の経験について振り返り、英語を公用語にする会社に入りたいか否かについて考えられる構成となっている。 （言語・コミュニケーション）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		国際語としての英語について、知っていることや思っていることを発言できる。英語を公用語としている会社について自分なりに考えた意見を発言できる。	Warm-up の写真について英語で説明したり、語句の確認を行ったりするなどして学習内容への関心を高める。教師によるオーラル・イントロダクションを聞いて本文の内容を予測し、ペアで共有する。	情報や考えなどについて英語で話し合ったり意見の交換をしようとしたりする。ペアワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。	a. 授業に対する意欲 b. 発表
		「外国語表現の能力」			
		教科書の Writing パートで内容の要約を書き、ほかの生徒と相互評価する。また、ペアやグループでの言語活動を通して、自分の考えを発表する。	「英語を公用語とする会社で働くのは良いことか」賛成・反対に分かれてミニ・ディベートを行ったり、ディスカッションを行ったりする。	本文の内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることができる。ペアやグループで対話や議論などを行い、自分の考えを自分の言葉で話すことができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		いくつかの日本企業が英語を公用語にしている理由が理解できる。英語を社内公用語にすることの利点・問題点などについて考える。	本文の概要を問う問題、詳細を問う問題に取り組み、内容理解を深める。さらにペアで英語による Q&A を行い、本文の内容理解を確認する。	リーディングの問いに対し、本文の流れを的確に把握して答えることができる。リスニングの音声を聞き取り、問題に答えることができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		新出の語や表現の意味・用法を理解する。 国際語としての英語の観点から、会社が英語を公用語にする理由について理解する。	グローバル社会を企業がどう見ているかという点について考える。 本文中に用いられている表現などから、英語特有の言い回しやその意味を考える。	新出の語や表現の意味・用法を理解し、必要に応じて適切に使用できる。本文から読み取れる、題材とその分野に関連する知識を理解している。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査

4　学習の活動

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 An Appalling Waste of Food （５時間）	食品廃棄物に関する英文。世界では生産された食料のおよそ１／３にものぼる莫大な量の食品が捨てられているという現状について書かれている。廃棄物を減らすためにできることや現状に対する自分の意見を考えたり述べたりできる構成となっている。 （社会）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		食品廃棄物について、知っていることや思っていることを発言できる。食品廃棄物を減らすためにできることについて自分なりに考えた意見を発言できる。	Warm-up の写真について英語で説明したり、語句の確認を行ったりするなどして学習内容への関心を高める。教師によるオーラル・イントロダクションを聞いて本文の内容を予測し、ペアで共有する。	情報や考えなどについて英語で話し合ったり意見の交換をしようとしたりする。ペアワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。	a. 授業に対する意欲 b. 発表
		「外国語表現の能力」			
		教科書の Writing パートで内容の要約を書き、ほかの生徒と相互評価する。また、ペアやグループでの言語活動を通して、自分の考えを発表する。	「賞味期限は厳密に守るべきか」賛成・反対に分かれてミニ・ディベートを行ったり、ディスカッションを行ったりする。	本文の内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることができる。ペアやグループで対話や議論などを行い、自分の考えを自分の言葉で話すことができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		先進国，特に日本における食品廃棄の現状と問題点が理解できる。食品廃棄物を減らすためにすべきことが理解できる。	本文の概要を問う問題、詳細を問う問題に取り組み、内容理解を深める。さらにペアで英語による Q&A を行い、本文の内容理解を確認する。	リーディングの問いに対し、本文の流れを的確に把握して答えることができる。リスニングの音声を聞き取り、問題に答えることができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		新出の語や表現の意味・用法を理解する。 食品廃棄物の問題について理解する。	先進国の食品廃棄物に対する取り組みや姿勢について考える。 本文中に用いられている表現などから、英語特有の言い回しやその意味を考える。	新出の語や表現の意味・用法を理解し、必要に応じて適切に使用できる。本文から読み取れる、題材とその分野に関連する知識を理解している。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
Lesson 4 Mastering the Art of Living （５時間）	生きる技術を習得することについての文章。仕事を選ぶときには、情熱と能力だけでなく、市場の存在も必要であるという内容について書かれており、将来の職業選択について役立てることのできる内容と構成になっている。 （人生・教育）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		自分が将来就きたい職業について、知っていることや思っていることを発言できる。人生で成功するために大切だと思うことについて自分なりに考えた意見を発言できる。	Warm-up の写真について英語で説明したり、語句の確認を行ったりするなどして学習内容への関心を高める。教師によるオーラル・イントロダクションを聞いて本文の内容を予測し、ペアで共有する。	情報や考えなどについて英語で話し合ったり意見の交換をしようとしたりする。ペアワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。	a. 授業に対する意欲 b. 発表
		「外国語表現の能力」			
		教科書の Writing パートで内容の要約を書き、ほかの生徒と相互評価する。また、ペアやグループでの言語活動を通して、自分の考えを発表する。	「人生において成功するためには自分自身の情熱を追うべきか」賛成・反対に分かれてミニ・ディベートを行ったり、ディスカッションを行ったりする。	本文の内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることができる。ペアやグループで対話や議論などを行い、自分の考えを自分の言葉で話すことができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		人生で成功するために大切なことが理解できる。 人生での成功の鍵についての筆者の考えを理解できる。	本文の概要を問う問題、詳細を問う問題に取り組み、内容理解を深める。さらにペアで英語による Q&A を行い、本文の内容理解を確認する。	リーディングの問いに対し、本文の流れを的確に把握して答えることができる。リスニングの音声を聞き取り、問題に答えることができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		新出の語や表現の意味・用法を理解する。 「人生の達人」についての老子の言葉を理解する。	はるか昔の中国の時代に記された老子の言葉の意味を考える。 本文中に用いられている表現などから、英語特有の言い回しやその意味を考える。	新出の語や表現の意味・用法を理解し、必要に応じて適切に使用できる。本文から読み取れる、題材とその分野に関連する知識を理解している。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 Understanding Communication without Words （５時間）	言葉によらない非言語コミュニケーションが重要な役割を果たしていることについての文章。さまざまなコミュニケーションとその文化的背景について理解を深めることができ、効果的なコミュニケーション方法について考えることができる内容と構成となっている。 （文化・コミュニケーション）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		非言語コミュニケーションについて、知っていることや思っていることを発言できる。文化による非言語コミュニケーションの違いについて自分なりに考えた意見を発言できる。	Warm-up の写真について英語で説明したり、語句の確認を行ったりするなどして学習内容への関心を高める。教師によるオーラル・イントロダクションを聞いて本文の内容を予測し、ペアで共有する。	情報や考えなどについて英語で話し合ったり意見の交換をしようとしたりする。ペアワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。	a. 授業に対する意欲 b. 発表
		「外国語表現の能力」			
		教科書の Writing パートで内容の要約を書き、ほかの生徒と相互評価する。また、ペアやグループでの言語活動を通して、自分の考えを発表する。	「異国を訪れた際には、その文化や慣習に従うべきか」賛成・反対に分かれてミニ・ディベートを行ったり、ディスカッションを行ったりする。	本文の内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることができる。ペアやグループで対話や議論などを行い、自分の考えを自分の言葉で話すことができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		さまざまな非言語コミュニケーションがあることが理解できる。	本文の概要を問う問題、詳細を問う問題に取り組み、内容理解を深める。さらにペアで英語による Q&A を行い、本文の内容理解を確認する。	リーディングの問いに対し、本文の流れを的確に把握して答えることができる。リスニングの音声を聞き取り、問題に答えることができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		新出の語や表現の意味・用法を理解する。 非言語コミュニケーションの文化的背景を理解する。	異なる文化圏での非言語コミュニケーションが意味することを考える。 本文中に用いられている表現などから、英語特有の言い回しやその意味を考える。	新出の語や表現の意味・用法を理解し、必要に応じて適切に使用できる。本文から読み取れる、題材とその分野に関連する知識を理解している。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
Lesson 6 How to Make Japan “Cool” （５時間）	日本を再活性化するためには何を行うべきか、今治タオルの復活の例についての文章。日本の繊維産業で起きた改革について書かれており、世界に誇る日本の物作りに関して理解を深められる構成となっている。 （経済）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		日本の産業について、知っていることや思っていることを発言できる。世界で評価されている日本の産業について自分なりに考えた意見を発言できる。	Warm-up の写真について英語で説明したり、語句の確認を行ったりするなどして学習内容への関心を高める。教師によるオーラル・イントロダクションを聞いて本文の内容を予測し、ペアで共有する。	情報や考えなどについて英語で話し合ったり意見の交換をしようとしたりする。ペアワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。	a. 授業に対する意欲 b. 発表
		「外国語表現の能力」			
		教科書の Writing パートで内容の要約を書き、ほかの生徒と相互評価する。また、ペアやグループでの言語活動を通して、自分の考えを発表する。	「安価な輸入品ではなく国産の製品を買うべきか」賛成・反対に分かれてミニ・ディベートを行ったり、ディスカッションを行ったりする。	本文の内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることができる。ペアやグループで対話や議論などを行い、自分の考えを自分の言葉で話すことができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		今治タオルの衰退と復活の経緯が理解できる。 90 年代の日本の製造業の生産拠点の海外シフトについて理解できる。	本文の概要を問う問題、詳細を問う問題に取り組み、内容理解を深める。さらにペアで英語による Q&A を行い、本文の内容理解を確認する。	リーディングの問いに対し、本文の流れを的確に把握して答えることができる。リスニングの音声を聞き取り、問題に答えることができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		新出の語や表現の意味・用法を理解する。 今治タオルや日本の繊維産業について理解する。	産業の海外シフトがもたらす変化や意味を考える。 本文中に用いられている表現などから、英語特有の言い回しやその意味を考える。	新出の語や表現の意味・用法を理解し、必要に応じて適切に使用できる。本文から読み取れる、題材とその分野に関連する知識を理解している。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 The Growth of Dictionaries in Japan （５時間）	日本における英和辞典発展の歴史についての文章。日本最古の英和辞典を作った堀達之助と英和辞典の歴史について書かれており、普段自分自身が英語学習に用いているであろう辞書の成り立ちについて考えられる構成となっている。 （言語・歴史）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		外国語や辞書について、知っていることや思っていることを発言できる。外国語の学習や外国人とのコミュニケーションについて自分なりに考えた意見を発言できる。	Warm-up の写真について英語で説明したり、語句の確認を行ったりするなどして学習内容への関心を高める。教師によるオーラル・イントロダクションを聞いて本文の内容を予測し、ペアで共有する。	情報や考えなどについて英語で話し合ったり意見の交換をしようとしたりする。ペアワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。	a. 授業に対する意欲 b. 発表
		「外国語表現の能力」			
		教科書の Writing パートで内容の要約を書き、ほかの生徒と相互評価する。また、ペアやグループでの言語活動を通して、自分の考えを発表する。	「電子辞書は紙の辞書よりも役に立つ」という議題に対して賛成・反対に分かれてミニ・ディベートを行ったり、ディスカッションを行ったりする。	本文の内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることができる。ペアやグループで対話や議論などを行い、自分の考えを自分の言葉で話すことができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		堀達之助がどのような人物だったのかが理解できる。英和辞典の発展の歴史が理解できる。	本文の概要を問う問題、詳細を問う問題に取り組み、内容理解を深める。さらにペアで英語による Q&A を行い、本文の内容理解を確認する。	リーディングの問いに対し、本文の流れを的確に把握して答えることができる。リスニングの音声を聞き取り、問題に答えることができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		新出の語や表現の意味・用法を理解する。 英和辞典の歴史について理解する。	本文中に用いられている表現などから、英語特有の言い回しやその意味を考える。	新出の語や表現の意味・用法を理解し、必要に応じて適切に使用できる。本文から読み取れる、題材とその分野に関連する知識を理解している。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
Lesson 8 Questions without Correct Answers （５時間）	『Lady, or the Tiger? (女か，虎か)』という物語文。人生における「正解のない問い」に出会った際、答えを出すために必要なものは何なのかについて自分の考えを深められる構成となっている。 （人生・教育）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		学校で学ぶ問題と人生で直面する問題の違いについて、知っていることや思っていることを発言できる。自分がこれまでに直面した「正解のない問い」について自分なりに考えた意見を発言できる。	Warm-up の写真について英語で説明したり、語句の確認を行ったりするなどして学習内容への関心を高める。教師によるオーラル・イントロダクションを聞いて本文の内容を予測し、ペアで共有する。	情報や考えなどについて英語で話し合ったり意見の交換をしようとしたりする。ペアワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。	a. 授業に対する意欲 b. 発表
		「外国語表現の能力」			
		教科書の Writing パートで内容の要約を書き、ほかの生徒と相互評価する。また、ペアやグループでの言語活動を通して、自分の考えを発表する。	「医者は患者に病状について真実を伝えるべきか」という議題に対して賛成・反対に分かれてミニ・ディベートを行ったり、ディスカッションを行ったりする。	本文の内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることができる。ペアやグループで対話や議論などを行い、自分の考えを自分の言葉で話すことができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		『Lady, or the Tiger?』の物語の内容が理解できる。「正解のない問い」に答えを出すために必要なものが理解できる。	本文の概要を問う問題、詳細を問う問題に取り組み、内容理解を深める。さらにペアで英語による Q&A を行い、本文の内容理解を確認する。	リーディングの問いに対し、本文の流れを的確に把握して答えることができる。リスニングの音声を聞き取り、問題に答えることができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		新出の語や表現の意味・用法を理解する。 『Lady, or the Tiger?』という物語の意味を理解する。	本文中に用いられている表現などから、英語特有の言い回しやその意味を考える。	新出の語や表現の意味・用法を理解し、必要に応じて適切に使用できる。本文から読み取れる、題材とその分野に関連する知識を理解している。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 World Heritage Site: Not Always a Good Idea? （５時間）	世界遺産に登録された麗江古城が抱える問題について書かれた文章。世界遺産や麗江古城について理解を深めるとともに、世界遺産に登録されることの是非について考えることのできる内容と構成になっている。 （文化・環境）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		世界遺産について、知っていることや思っていることを発言できる。世界遺産に登録された場所や文化について自分なりに考えた意見を発言できる。	Warm-up の写真について英語で説明したり、語句の確認を行ったりするなどして学習内容への関心を高める。教師によるオーラル・イントロダクションを聞いて本文の内容を予測し、ペアで共有する。	情報や考えなどについて英語で話し合ったり意見の交換をしようとしたりする。ペアワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。	a. 授業に対する意欲 b. 発表
		「外国語表現の能力」			
		教科書の Writing パートで内容の要約を書き、ほかの生徒と相互評価する。また、ペアやグループでの言語活動を通して、自分の考えを発表する。	「富士山を世界遺産登録から外すべきか」賛成・反対に分かれてミニ・ディベートを行ったり、ディスカッションを行ったりする。	本文の内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることができる。ペアやグループで対話や議論などを行い、自分の考えを自分の言葉で話すことができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		麗江古城の文化と世界遺産登録による効果が理解できる。 世界遺産に登録されたことによって引き起こされた麗江の問題点が理解できる。	本文の概要を問う問題、詳細を問う問題に取り組み、内容理解を深める。さらにペアで英語による Q&A を行い、本文の内容理解を確認する。	リーディングの問いに対し、本文の流れを的確に把握して答えることができる。リスニングの音声を聞き取り、問題に答えることができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		新出の語や表現の意味・用法を理解する。 麗江古城と世界遺産について理解する。	世界遺産登録を受けている場所や文化の共通点を探る。本文中に用いられている表現などから、英語特有の言い回しやその意味を考える。	新出の語や表現の意味・用法を理解し、必要に応じて適切に使用できる。本文から読み取れる、題材とその分野に関連する知識を理解している。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
Lesson 10 Space Farming （５時間）	宇宙空間でのレタス栽培を例とした宇宙産業における成功と今後の展望について書かれた文章。宇宙開発や宇宙で野菜栽培を行うことの意義、またその諸課題ついて理解を深められる構成となっている。 （宇宙・科学）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		宇宙開発について、知っていることや思っていることを発言できる。宇宙で野菜を栽培することについて自分なりに考えた意見を発言できる。	Warm-up の写真について英語で説明したり、語句の確認を行ったりするなどして学習内容への関心を高める。教師によるオーラル・イントロダクションを聞いて本文の内容を予測し、ペアで共有する。	情報や考えなどについて英語で話し合ったり意見の交換をしようとしたりする。ペアワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。	a. 授業に対する意欲 b. 発表
		「外国語表現の能力」			
		教科書の Writing パートで内容の要約を書き、ほかの生徒と相互評価する。また、ペアやグループでの言語活動を通して、自分の考えを発表する。	「人類は宇宙開発に投資し続けるべきか」賛成・反対に分かれてミニ・ディベートを行ったり、ディスカッションを行ったりする。	本文の内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることができる。ペアやグループで対話や議論などを行い、自分の考えを自分の言葉で話すことができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		宇宙で野菜を栽培することの重要性が理解できる。 宇宙農業の利点と問題点が理解できる。	本文の概要を問う問題、詳細を問う問題に取り組み、内容理解を深める。さらにペアで英語による Q&A を行い、本文の内容理解を確認する。	リーディングの問いに対し、本文の流れを的確に把握して答えることができる。リスニングの音声を聞き取り、問題に答えることができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		新出の語や表現の意味・用法を理解する。 宇宙での野菜栽培について理解する。	世界各国の宇宙開発の現状を調べる。 本文中に用いられている表現などから、英語特有の言い回しやその意味を考える。	新出の語や表現の意味・用法を理解し、必要に応じて適切に使用できる。本文から読み取れる、題材とその分野に関連する知識を理解している。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 11 The Art of Mnemonics （５時間）	現代に生きる記憶術が発展してきた経緯についての文章。記憶術の種類やそれらの歴史に関する理解を深められる構成となっている。 （科学・教育）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		「記憶術」について、知っていることや思っていることを発言できる。自分の知っている「記憶術」などについて自分なりに考えた意見を発言できる。	Warm-up の写真について英語で説明したり、語句の確認を行ったりするなどして学習内容への関心を高める。教師によるオーラル・イントロダクションを聞いて本文の内容を予測し、ペアで共有する。	情報や考えなどについて英語で話し合ったり意見の交換をしようとしたりする。ペアワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。	a. 授業に対する意欲 b. 発表
		「外国語表現の能力」			
		教科書の Writing パートで内容の要約を書き、ほかの生徒と相互評価する。また、ペアやグループでの言語活動を通して、自分の考えを発表する。	「人前でスピーチをするときはメモに頼らず話すべきだ」という議題に対して賛成・反対に分かれてミニ・ディベートを行ったり、ディスカッションを行ったりする。	本文の内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることができる。ペアやグループで対話や議論などを行い、自分の考えを自分の言葉で話すことができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		「短期記憶」と「長期記憶」に置かれる情報の違いが理解できる。 「記憶術」として挙げられている例が理解できる。	本文の概要を問う問題、詳細を問う問題に取り組み、内容理解を深める。さらにペアで英語による Q&A を行い、本文の内容理解を確認する。	リーディングの問いに対し、本文の流れを的確に把握して答えることができる。リスニングの音声を聞き取り、問題に答えることができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		新出の語や表現の意味・用法を理解する。 さまざまな「記憶術」があることについて理解する。	時代に合わせて「記憶術」が生み出されたことについて考える。	新出の語や表現の意味・用法を理解し、必要に応じて適切に使用できる。本文から読み取れる、題材とその分野に関連する知識を理解している。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
Lesson 12 Why Your Brain Wants to Help One Child in Need—But Not Millions （５時間）	人々の慈善活動に対する寄付の多寡は名によって決まるのか、心理学の観点から論じられた文章。人が寄付をする時の心理状況において、どのような場合に人を助けたい気持ちが萎えるのかについて理解を深められ、それと同時に世界の飢餓や伝染病の状況について知ることができる構成となっている。 （心理）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		慈善活動について、知っていることや思っていることを発言できる。大義のための寄付について自分なりに考えた意見を発言できる。	Warm-up の写真について英語で説明したり、語句の確認を行ったりするなどして学習内容への関心を高める。教師によるオーラル・イントロダクションを聞いて本文の内容を予測し、ペアで共有する。	情報や考えなどについて英語で話し合ったり意見の交換をしようとしたりする。ペアワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。	a. 授業に対する意欲 b. 発表
		「外国語表現の能力」			
		教科書の Writing パートで内容の要約を書き、ほかの生徒と相互評価する。また、ペアやグループでの言語活動を通して、自分の考えを発表する。	「人々はもっと慈善活動に寄付すべきである」という議題に対して賛成・反対に分かれてミニ・ディベートを行ったり、ディスカッションを行ったりする。	本文の内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることができる。ペアやグループで対話や議論などを行い、自分の考えを自分の言葉で話すことができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		スロヴィックの行った研究の内容と結果が理解できる。困っている人を助けたいと思う気持ちを減退させる心理的な理由が理解できる。	本文の概要を問う問題、詳細を問う問題に取り組み、内容理解を深める。さらにペアで英語による Q&A を行い、本文の内容理解を確認する。	リーディングの問いに対し、本文の流れを的確に把握して答えることができる。リスニングの音声を聞き取り、問題に答えることができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		新出の語や表現の意味・用法を理解する。 慈善活動に寄付をするときの人の感情について理解する。	出身の国によって寄付の頻度や額が違うのか考える。 本文中に用いられている表現などから、英語特有の言い回しやその意味を考える。	新出の語や表現の意味・用法を理解し、必要に応じて適切に使用できる。本文から読み取れる、題材とその分野に関連する知識を理解している。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 13 Rethinking Our Approach to Life （５時間）	ウルグアイの元大統領、ホセ・ムヒカ氏の演説を文字に起こした文章。彼の人生哲学について書かれており、よりよい社会をつくるためにどのような方法をとるべきかについて考えられる構成となっている。 （政治・経済）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		ホセ・ムヒカ氏について、知っていることや思っていることを発言できる。ムヒカ氏の「国際リオ＋20サミット」の演説について自分なりに考えた意見を発言できる。	Warm-upの写真について英語で説明したり、語句の確認を行ったりするなどして学習内容への関心を高める。教師によるオーラル・イントロダクションを聞いて本文の内容を予測し、ペアで共有する。	情報や考えなどについて英語で話し合ったり意見の交換をしようとしたりする。ペアワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。	a. 授業に対する意欲 b. 発表
		「外国語表現の能力」			
		教科書のWritingパートで内容の要約を書き、ほかの生徒と相互評価する。また、ペアやグループでの言語活動を通して、自分の考えを発表する。	「環境に配慮した文明化のモデルを作るべきだ」という議題に対して賛成・反対に分かれてミニ・ディベートを行ったり、ディスカッションを行ったりする。	本文の内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることができる。ペアやグループで対話や議論などを行い、自分の考えを自分の言葉で話すことができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		ホセ・ムヒカ氏がどのような人物かが理解できる。 私たちが暮らす社会についてのムヒカ氏の主張が理解できる。	本文の概要を問う問題、詳細を問う問題に取り組み、内容理解を深める。さらにペアで英語によるQ&Aを行い、本文の内容理解を確認する。	リーディングの問いに対し、本文の流れを的確に把握して答えることができる。リスニングの音声を聞き取り、問題に答えることができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		新出の語や表現の意味・用法を理解する。 ホセ・ムヒカ氏の主張について理解する。	世界にはさまざまな考えを持った統治者がいることを知る。 本文中に用いられている表現などから、英語特有の言い回しやその意味を考える。	新出の語や表現の意味・用法を理解し、必要に応じて適切に使用できる。本文から読み取れる、題材とその分野に関連する知識を理解している。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
Lesson 14 A Japanese Campaign Wants to Rewrite the Global Rules of Escalator Etiquette （５時間）	世界のいろいろな場所でのエスカレーターの乗り方、マナーについて書かれた文章。日本での「歩行禁止」キャンペーンについて理解を深めたり、エスカレーターの乗り方についてどのようにしていくべきかを考えたりできる内容と構成になっている。 （文化・慣習）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		エスカレーターの乗り方について、知っていることや思っていることを発言できる。乗るときのマナーについて自分なりに考えた意見を発言できる。	Warm-upの写真について英語で説明したり、語句の確認を行ったりするなどして学習内容への関心を高める。教師によるオーラル・イントロダクションを聞いて本文の内容を予測し、ペアで共有する。	情報や考えなどについて英語で話し合ったり意見の交換をしようとしたりする。ペアワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。	a. 授業に対する意欲 b. 発表
		「外国語表現の能力」			
		教科書のWritingパートで内容の要約を書き、ほかの生徒と相互評価する。また、ペアやグループでの言語活動を通して、自分の考えを発表する。	「エスカレーターの片側を空けておくべきだ」という議題に対して賛成・反対に分かれてミニ・ディベートを行ったり、ディスカッションを行ったりする。	本文の内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることができる。ペアやグループで対話や議論などを行い、自分の考えを自分の言葉で話すことができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		世界各国でのエスカレーターを乗り方が理解できる。 エスカレーターでの歩行を禁止する理由が理解できる。	本文の概要を問う問題、詳細を問う問題に取り組み、内容理解を深める。さらにペアで英語によるQ&Aを行い、本文の内容理解を確認する。	リーディングの問いに対し、本文の流れを的確に把握して答えることができる。リスニングの音声を聞き取り、問題に答えることができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		新出の語や表現の意味・用法を理解する。 エスカレーター歩行禁止キャンペーンについて理解する。	国によって異なるマナーについて考える。 本文中に用いられている表現などから、英語特有の言い回しやその意味を考える。	新出の語や表現の意味・用法を理解し、必要に応じて適切に使用できる。本文から読み取れる、題材とその分野に関連する知識を理解している。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 15 Why Are Children's Books Still Promoting Gender Stereotypes? （５時間）	児童書を性別で分類することによって性差の固定観念が生み出されていること、これに反対するキャンペーンについて取り上げた文章。性差の固定概念が及ぼす影響についての理解を深め、児童書を性別で分類することの是非について考えることができる構成となっている。 （社会）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		性差の固定概念が反映される本やそのほかの商品について、知っていることや思っていることを発言できる。児童書を性別で分類することについて自分なりに考えた意見を発言できる。	Warm-up の写真について英語で説明したり、語句の確認を行ったりするなどして学習内容への関心を高める。教師によるオーラル・イントロダクションを聞いて本文の内容を予測し、ペアで共有する。	情報や考えなどについて英語で話し合ったり意見の交換をしようとしたりする。ペアワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。	a. 授業に対する意欲 b. 発表
		「外国語表現の能力」			
		教科書の Writing パートで内容の要約を書き、ほかの生徒と相互評価する。また、ペアやグループでの言語活動を通して、自分の考えを発表する。	「出版業界が“男子”向け、“女子”向けと決めるのは間違っている」という議題に対して賛成・反対に分かれてミニ・ディベートを行ったり、ディスカッションを行ったりする。	本文の内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることができる。ペアやグループで対話や議論などを行い、自分の考えを自分の言葉で話すことができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		性別によって分けられた本の違いが理解できる。 児童書を性別で分類することによる弊害が理解できる。	本文の概要を問う問題、詳細を問う問題に取り組み、内容理解を深める。さらにペアで英語による Q&A を行い、本文の内容理解を確認する。	リーディングの問いに対し、本文の流れを的確に把握して答えることができる。リスニングの音声を聞き取り、問題に答えることができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		新出の語や表現の意味・用法を理解する。 「レット・ブックス・ビー・ブックス」キャンペーンについて理解する。	世界各国の児童書の扱いについて考える。 本文中に用いられている表現などから、英語特有の言い回しやその意味を考える。	新出の語や表現の意味・用法を理解し、必要に応じて適切に使用できる。 本文から読み取れる、題材とその分野に関連する知識を理解している。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
Lesson 16 The 10,000-Hour Rule （５時間）	生まれつきの才能に関する研究についての文章。どんな分野でも成功するには１マン時間の努力が必要だとする内容が書かれており、才能と努力の関係について理解を深め、才能を伸ばすことや努力することについて考えられる構成となっている。 （人生・教育）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		才能や努力について、知っていることや思っていることを発言できる。 勉強や練習を継続することについて自分なりに考えた意見を発言できる。	Warm-up の写真について英語で説明したり、語句の確認を行ったりするなどして学習内容への関心を高める。教師によるオーラル・イントロダクションを聞いて本文の内容を予測し、ペアで共有する。	情報や考えなどについて英語で話し合ったり意見の交換をしようとしたりする。ペアワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。	a. 授業に対する意欲 b. 発表
		「外国語表現の能力」			
		教科書の Writing パートで内容の要約を書き、ほかの生徒と相互評価する。また、ペアやグループでの言語活動を通して、自分の考えを発表する。	「芸術分野で特に才能を持った子どもたちが通える小学校を作るべきだ」という議題に対して賛成・反対に分かれてミニ・ディベートを行ったり、ディスカッションを行ったりする。	本文の内容を簡潔にまとめて話したり、書いたりすることができる。ペアやグループで対話や議論などを行い、自分の考えを自分の言葉で話すことができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「外国語理解の能力」			
		エリクソンが行った研究の内容が理解できる。 「1 万時間の法則」の意味が理解できる。	本文の概要を問う問題、詳細を問う問題に取り組み、内容理解を深める。さらにペアで英語による Q&A を行い、本文の内容理解を確認する。	リーディングの問いに対し、本文の流れを的確に把握して答えることができる。リスニングの音声を聞き取り、問題に答えることができる。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査
		「言語や文化についての知識・理解」			
		新出の語や表現の意味・用法を理解する。 才能と努力の関係について理解する。	本文中に用いられている表現などから、英語特有の言い回しやその意味を考える。	新出の語や表現の意味・用法を理解し、必要に応じて適切に使用できる。 本文から読み取れる、題材とその分野に関連する知識を理解している。	b. 発表 c. 課題等の提出 d. 小テスト・定期考査